

## 院内感染対策へのサラヤの取組み



黒田 徳幸\*

Saraya's Approach to Nosocomial Infection Control  
Key Words : Gargle, Disinfectant, Antiseptic, Hygiene Infection-Control

社 名 : サラヤ株式会社  
英 文 社 名 : Saraya Co. Ltd.  
本社所在地 : 〒546-0013  
                  大阪市東住吉区湯里 2-2-8  
設 立 : 1952年 4月  
資 本 金 : 4,500万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 更家 悠介  
従 業 員 数 : 750人  
事 業 分 野 : 石けん・洗剤, 殺菌消毒剤, 健康食品等  
U R L : <http://www.saraya.com/>

「環境」, 「健康」をキーワードとしてグローバルに業容を拡大してきた。基本理念は「環境は地球に生きるすべての生物, そして人類にとって貴重な資源であると認識し, 環境保全と同時に持続的発展を目指し, 衛生の維持や感染の予防, 健康的なライフスタイル支援のための商品とサービスの提供をグローバルに

### 企業の成り立ち

1952年, 現会長(更家章太; 代表取締役)が大阪に業を起こして53年, サラヤ(株)は, 大阪市湯里に本社を置き, 手洗い, うがい, 殺菌・消毒を中心に「衛生」,

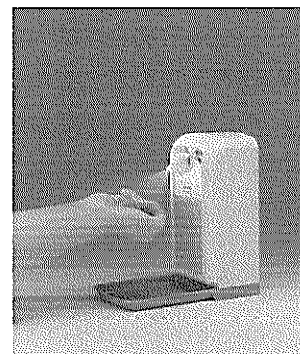


図2 UD1000/ヒビスコール

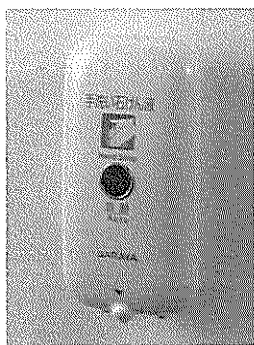


図1 手洗い石けんオートディスペンサー UD2200



\*Tokuyuki KURODA  
1944年1月生  
1968年大阪府立大学・工学部応用科学科  
修士  
現在, サラヤ(株), 取締役, 研究開発担  
当, 工学博士, 有機化学, 製剤化学  
TEL 06-6797-3122  
FAX 06-6700-6656  
E-mail : [kuroda@saraya.com](mailto:kuroda@saraya.com)



図3 コロロ自動うがい器

推進する」。この基本理念のもと、多くのオリジナル製品、ビジネスモデルを社会に問い、共鳴を得てきた。食品製造の場、病院給食の場でのHACCPに基づく手洗い、消毒を基本とした衛生管理をソフト、ハード両面で先導し、食品衛生への提案をしてきた。健康日本21の運動に併せ、成人病予防用健康食品も世に問うている。カロリーゼロの甘味料「ラカント」は糖尿病で食事制限を余儀なくされている人たちの好みの飲食への提案で好評を得、美容食を含め、年々ラカントファンが増えている。

今でこそ多くの企業が環境へのやさしさを謳った企業イメージを喧伝しているが、サラヤは生分解性に優れた「ヤシノミ洗剤」を世に出して30年、ずっと“自然派のサラヤ”を掲げ、エコ対応の原材料を指向した環境配慮型製品群を出している。

コロロ自動うがい器を世に出したのは1966年。以来40年間、うがい器は学校、企業、官公庁等々、広く人の集まる環境での衛生管理に寄与している。

「うがいして、洗って、拭いて、殺菌・消毒」の心がけは、感染予防の基本である。インフルエンザ感染には頻繁なうがいが効果がある。食中毒、病院感染の予防には手洗い、アルコール類での殺菌・消毒をまず初めに心がけねばならない。「うがいして、洗って、拭いて、殺菌・消毒」はサラヤ会社創設以来取り組んでいる重要なテーマであり、これに適う製品群を提案する中、幾許かの社会貢献が出来ているものと思う。

本企業レポートでは、院内感染対策へのサラヤの取り組みについて述べてみたい。

### 院内感染

病院は患者の病気を治すためにある。しかし、免疫機能の衰えた患者は、弱毒の菌であっても菌への抵抗が適わず治療の過程で院内の菌に感染して重篤な状態となる所謂、院内感染がしばしば起こる。院内感染は、衛生・環境管理が今ほど進んでいない古くから起こっているのは容易に推測されるが、感染で死亡に至っても、従来は殆ど公表されることはなかった。しかし時代が変わり、院内での感染情報は即座に伝達され社会的に大騒ぎになる。院内感染は今や社会問題であり、感染管理の貧弱な病院は淘汰されるようになってきた。

院内での菌への感染経路としては、接触感染、空

気感染、飛沫感染の3経路がある。感染予防のためには、この3経路を絶たねばならない。この3経路を媒介するのは、ヒト、モノ(器具)、環境である。感染はヒト、モノ、環境の複雑系の中で伝播するので、その対策は明確な計画と確実な実行が必要となる。

サラヤは洗浄・消毒剤のトップメーカーとして米国、欧州の動きもウオッチし、エビデンスに基づいて医療・福祉機関へソフト・ハード両面から感染対策商品を提供している。

ヒト、モノ、環境を媒介とする感染経路を絶つことが提案の枢要である。

### 手洗い・手指消毒

感染管理の基本となる手洗いでは、「手洗い石鹸」とともに「手洗いチェッカー」を当社オリジナル製品として提案している。医療従事者自身の手洗い手技の正確さを安価な手洗いチェッカーで確認する手洗い教育ツールとして好評を得ている。

アルコール消毒剤では消毒の持続性付与を考えた抗菌剤と保湿効果のあるエモリエント剤を処方し、効果の持続性と共に、手荒れを防止できる手にやさしい消毒剤を提案している。使用者のニーズに応えるべく開発したジェル製剤は日本初の剤型であり、使用環境によって液剤、ジェル剤の使い分けがされている。

液体石鹸、消毒剤では使用利便性からディスペンサーの使用が好ましい。サラヤはゴールドスタガードとして手をかざすだけで適量の薬液が出るオートディスペンサーを提案している。当社オリジナルのコンパクトなオートディスペンサーは何処にでも移動可能であり、使用時にどこへも手を触れない故に、安全・安心を満足する確実な洗浄、消毒が可能である。サラヤ発信のこのオリジナル製品は、欧米でも注目されている。

### 高度消毒剤・アセサイド

あと一つ、サラヤオリジナル製品を紹介して稿をおきたい。

医療器具の消毒・滅菌の分類ではスポールディングの分類が有名であり、彼はクリティカル器具、セミクリティカル器具、ノンクリティカル器具に分類した。手術用器具は無菌状態の生体内で使用されるゆえにクリティカル器具に分類され滅菌されなけれ

ばならない。粘膜に触れる器具はセミクリティカル器具に分類され、結核菌等、通常の消毒剤に抵抗性の強い抗酸菌を殺滅出来る高度消毒剤での消毒が要求される。軟性内視鏡がこの分野の器具の代表である。従来、高度消毒剤に分類されるものはグルタルアルデヒド(グルタラール; GA)のみであった。しかし、GAはアレルギー性、変異原性を有する物質であり、毒性・副作用問題で厳しい環境規制が課されている。GA蒸気の吸入を避けるための換気設備・取扱い時の保護具着用が強制されているが、副作用の報告は後を絶たない。また、GAに耐性な抗酸菌も報告されている。

サラヤはGAの代替消毒剤として菌、ウイルスに強力な殺菌力を有し、環境面、毒性面で有利な過酢酸に着目した。セミクリティカル器具への適用を目指した開発は成功し、日本初の医療用過酢酸製剤として2001年10月に厚生労働省から、“殺菌・消毒、化学的滅菌”の適応で承認を得て、「アセサイド®」として上市した。

一般に過酢酸は安定性が悪く、また、強い金属腐食性を有するゆえに内視鏡への適合性を満足するの

は至難といわれ、殺菌・消毒用途での過酢酸の歴史は古いものの医療用途には使用できないで来た。サラヤは、安定性、材質適合性にチャレンジし、ブレイクスルーできる処方に至った。現在、アセサイドは高度消毒を要する汎用医療器具用に、またオリンパスの内視鏡洗浄消毒器OER-2の専用薬剤として全国主要病院の内視鏡消毒に共されている。日本初の新薬としてGPMSPに基づく市販後調査で安全性追跡も怠らず進めている。アセサイドは2005年5月に米国FDAの510Kをクリアー、世界製品を目指している。

現状アセサイドは、殺菌・殺ウイルスの有効性は十分に満足できるものではあるが、使用利便性を含め、まだまだ改良に余地がある。バージョンアップを目指したサラヤの研究は今後も続く。

「開拓の場は永遠にある。我々は授かった力の限りをもって之を開発し、世の為に働こう」。

サラヤの綱領である。今後とも社会のニーズ、ウオンツを満たすオリジナルな製品、有用なビジネスモデルの提案をもって社会に貢献していきたい。

